

教育事業別報告書

事業名	地域力向上事業 なすかしの森チャレンジキャンプ フォローアップキャンプ
趣 旨	地域力向上事業「なすかしの森チャレンジキャンプ」の参加者が、一堂に会し、共に過ごした仲間とその後の生活をふり返る。また、一人ひとりが、より一層自分の夢に向かって頑張っていこうとする態度を育てるとともに、今後の生活の励みにする機会とする。
期 間	平成31年 1月12日(土)～ 1月14日(月) 2泊3日
募集人員 (募集結果)	なすかしの森チャレンジキャンプ(夏季)に参加した5・6年生20名 参加者人数20名(小学5年生7名, 小学6年生13名)

① 事業の特色

夏のキャンプ事業(8泊9日)に参加した子供たちが、2泊3日でなすかしの森に集い、キャンプ後の5ヶ月間の生活を互いにふり返るとともに、新たな体験活動【オリジナル凧作り】【雪上運動会】【雪上そり体験】【キャンドルファイヤー】に取り組んだ。最終日には、「未来へ」というテーマのもと、「将来のなりたい自分や夢」について目標達成シート(マンダラチャート)を使い考えた。将来の目標や夢を達成するために「何を頑張ればいいのか」「何が必要なのか」など、チャレンジキャンプを通して学んだこと感じたことをもとに考え、みんなの前で発表する活動を行った。



【オリジナル凧作り】



【雪上運動会】



【将来の自分へ決意発表】

② 事業の成果と課題

<事業の成果>

- 夏のキャンプ後の5ヶ月を互いにふり返ることにより、キャンプ直後から現在までの自分自身の生活について客観的にとらえる良い機会となった。
- ふり返りの時間では、夏のキャンプで身に付けた、個人の反省をグループで共有する方法を子供たちが自主的に運営し、積極的に話し合うことができていた。
- 「オリジナル凧作り体験」では、地元のにしごう体験隊の協力の下、オリジナルの凧を手作りで作成する活動を行い、凧の上がる仕組みなどについても学ぶことができた。凧上げ体験では、天気も穏やかで風があまりなく思い通りに上げることができなかった。
- 未来の自分へのエールを発表する活動や目標達成シートを作成する活動を通し、これからの自分に対して具体的な行動目標をもち、未来に向かって頑張っていこうとする態度を育てることができた。
- 8泊9日間をともに乗り越えた仲間たちの絆は、一生心の中に息づいているかけがえのない宝物だと思われる。また、フォローアップキャンプでは、自分の将来や未来について真剣に考える活動をメインにしたので、このキャンプを経験した子供たちが今後どのように成長していくのか楽しみである。

<事業の課題>

- 次年度も公立の社会教育施設へのモデルとなる事業として、さらに地域の人材、組織等を活用するプログラムの実践をしていくとともに、安全で有効なプログラムを広く紹介できるものにしたい。

(企画指導専門職 西村 孝幸)